

特 高剛性と軽量化

シートフレームはSR-05 (世界初のフルレーザー溶接を実現) がベースの高剛性と軽量化モデル。モータースポーツシエル (バケットシート) に近いホールド性を備え、同社のスポーツシートの中では、中間に位置するSR-3より、スポーツ指向のポジションとなっている。

よりスポーツ指向の人気モデル SR-6 SK100S

●価格: 11万1300円

丸みを帯びながら大きく張り出したシヨルダ



Z34に装着したところ。座面が低い形状なので、アイポイントは純正よりわずかに下がる

レブ座本による試乗。肩をはじめ、上体をしっかり包み込んでくれるので、横Gに強い



「サポートが特徴で、とくに上半体の固定に優れている。また、座面が薄く低い分、背もたれの丈が長い。左の写真はカマイとシャイニングメッシュの生地コンビネーションが施された「SK100S」。その他、カマイ生地にレカロ独自開発のノンスリップ・シヨルダサポートを備えた「K100S」(9万1350円) もラインアップされる。

特 肩と脇の上体を中心にカラダを包み込む

アイポイントはSR-11同様、純正シートよりわずかに低い印象。SR-11に比べると座面の幅が広く、腰から下のホールド性はさほどでもない(大柄な人であればその限りでもないが……)。

しかし、サイドやシヨルダのサポート部分が丸みを帯びながら、カラダを包み込むように大きく張り出しているのが、肩や脇など、上体を中心に密着感が高い。そのため、コーナーリング時など、横Gが大きく掛かる場合も上体のホールド性に優れ、よりスポーツ走行に適したシートといえる。

特 発売日は6月1日新スタンダード始まる

レカロのスポーツシートの定番として、永らく親しまれてきたSR-3がいよいよフルモデルチェンジ。6月、新たにSR-7として登場する。SRシリーズには、フルバケに匹敵するホールド性を持ったSP-Xやハイブリッド構造のスピードスターなどの上級モデルも設定されるが、SR-7はそれらのエントリーモデルとして設定される。

SR-7が目指したのは、世界最高水準の安全性とSR-3を超える乗り心地の両立だ。そのうえで時代に合ったモダンなデザインを与えることで、次世代スポーツシートのスタン



ベルトホールは現在主流の3.5インチ幅ベルトに対応したサイズ。ホール間には伝統の3ストライプ



座面はSR-11の基本設計を受け継ぎ、体圧分布の計測と熟練のパネラーによる開発がなされている

ロングセラーSR-11の後継モデル SR-7発表間近! 次号、徹底試乗レポート SR-7

●編集部予想価格 8万円台~



サイドサポートはSR-11より張り出しているが、ホールド性と操作性のバランスを重視

Weight: 次号公開



前倒しレバーはSR-11から採用された新タイプで、調整ダイヤルもより操作性に優れる



ダードとすべく設計された。まず、基本となるシートフレームは、上級モデルに当たるSR-11で新たに開発された次世代フレーム、SR-05が採用される。SR-05では衝突時の衝撃を吸収するとともに、前方衝突時には乗員の前滑りを防止し、後方衝突に対しても後方への倒れ込みを抑制するなど、高度な安全設計が施されている。また、シエル構造も往年のモノコックシエルが復活。シートの高剛性も大幅に向上した。形状についても、独自の計測機器を使って実走状態における体圧分布を測定したデータをもとに吟味され、静的、動的、そして感覚的な面においても最適なウレタンの形状および材質が決定された。その結果、SR-7では乗り心地やホールド性など、ストリートユースからスポーツ走行まで、あらゆるシーンで従来モデルを上回る性能を実現。気になるSR-3からの進化ポイントやSR-6、SR-11との違いなど、試乗インプレッションは次号に掲載の予定。

ベースフレーム

Z34フェアレディZ用
左席用: 2081.857.1
1万8900円
右席用: 2081.857.2
1万8900円



サイドエアバックキャンセラー付き。SR-11もSR-6も共通のシートレールとなる。車種別適合の詳細は同社のWEBに公表されている

取材協力はトリアル レカロ常時試乗OK!



関西を代表する老舗のチューニングショップ。量販店をも凌ぐ広大な駐車場と開放感のあるショールームで、初めての来店でもとまどいが無い。



「レカロショップ」としての歴史も長く、店内には試乗できるシートがズラリ! 買う前にチェックできるのは、やはりうれしい

■トリアル
大阪府堺市美原区丹上87-1
TEL072-369-3539 <http://www.trial.co.jp/>